

# おらDoの協Do!

～人と人が集まり、出会いとつながりが  
広がる中で生まれる「おもっせえ」おおつち～

協働による地域・まちづくりを実践し、  
人と人との出会いやつながりを生み出  
している「おもっせえ」人や活動を紹  
介します。みんなやっせえ協働！

## 日記①

### はじまりの春



開墾・種まきの様子「みんなで汗を流した農園づくり」

最初は何も無かった場所を、地域の大人たちが力を合わせて開墾しました。「ここに植えます?」「子どもたちが喜ぶのがいいな」と、鍬を振るう手にも熱が入ります。

まっさらな畑に、これから“ワクワクの種”も一緒にまきました。

## 日記②

### 実りの季節



はじめての野菜作り、大収穫！（左：秋の収穫、右：夏の収穫）

「見て！大きいのが獲れたよ！」とジャガイモを手にする子どもたち。初めての野菜作りに、地域の“先生”たちが優しく手ほどきしました。土の感触や、自分たちで育てた野菜の重みに、子どもたちの目はキラキラ。

畑には、世代を超えて「教え、教わる」素敵な時間が流れました。

## 日記③

### 笑顔の食卓



交流会の様子（料理を囲み談笑する参加者）

採れたて野菜で食卓を囲んだ交流会。苦労して開墾した日のことや、野菜が育った喜びを語り合いながら食べるご飯は格別です。「結い」の心でつながった源水地区の絆が、また一つ強くなつた一日でした。



問 協働地域づくり推進課 TEL 0193-42-8718

## 源水地区・多世代交流 地域を育むみんなの農園日記

源水自治会では、地域のみんなが自然と集まれる場所を作ると、ゼロから農園を開墾しました。汗を流し、育て、味わった、笑顔あふれる多世代交流の記録です。

### 開墾から収穫・親睦まで 地域で育てた「野菜作り」

源水地区内に、「源水自治会菜園」と命名された農園が、今年の春に作られました。開墾から種まき、収穫

に至るまで、全て自治会独自で築き上げた「育みの場」です。源水自治会の三浦芳範会長は、自

治会役員と相談しながら、子どもからお年寄りまでが楽しめるコミュニティを模索していました。そんな中、

「野菜作り」は、大人が子どもたちに教えながら取り組むことで、交流の輪が広がり、「野菜への愛着」や「育む大切さ」を学ぶとともにつながります。

初めての農園活動は、地区住民の参加・協力のもと無事に収穫を終え、地域コミュニティの形成に結び付く

生活に身近な「食」をテーマとした、多世代が交流できる「野菜作り」を提案し、自治会会員からの賛同のもと、4月から本格的に農園活動をスタートしました。

活動になりました。「自治会菜園」という源水地区的「結い」の心に触れ、多世代をつなぐ「育みの場」として、今後も新たな展開が期待できます。



農園活動は、単なる野菜作りではなく、人と人との心を結ぶ大切なきっかけとなりました。源水地区ではこれからも「結い」の心を大切に、笑顔の輪を広げていきます。